

2018(平成 30)年度がん高度実践看護師(APN)コース 授業科目

テーマ：『高齢がん患者の治療とケア』

科目名	授業の概要
<p>1. 高齢がん看護基盤論</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>高齢者の身体的、心理的かつ社会的な特徴を理解すると共に、健康な高齢者の加齢に伴う成り行きとそれに関わる要因を踏まえ、高齢がん患者への看護実践の基盤となる諸理論と、高齢者の権利擁護および倫理的思考について学修する。</p> <p><達成目標></p> <p>① 高齢者の加齢に伴う身体的、心理的かつ社会的な特徴を理解する</p> <p>② 高齢がん患者への看護の基盤となる諸理論、ならびにその活用法について理解する</p> <p>③ 高齢者の権利擁護について理解し、倫理的思考に基づく看護の役割について説明できる（含：高齢者を取り巻く医療環境が抱える課題と戦略）</p>
<p>2. 高齢がん診断治療学</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>高齢がん患者の特徴を踏まえたがん治療および診断の実際について理解し、高度実践看護師として、エビデンスに基づいて高齢がん患者への看護のアプローチを提供する能力を獲得する。また認知症に関わる診断および治療についての理解を深め、認知症を持つ高齢がん患者の看護実践への適応について考察する。</p> <p><達成目標></p> <p>① 高齢者の加齢に伴う諸問題を医学的な観点から理解する</p> <p>② 認知症の診断・治療のプロセスとそれに伴う患者の反応および支援について説明できる</p> <p>③ 高齢がん患者の治療過程における看護援助について説明できる</p>
<p>3. 高齢がん看護実践論</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>認知症をはじめとする高齢者特有の機能および病態の理解を踏まえ、高齢がん患者の生涯を視野に入れた、生活の質向上を目指す高度な看護実践に応用するための基盤を学修する。</p> <p><達成目標></p> <p>① 高齢者の特徴を踏まえ、高齢がん患者と家族を包括的にアセスメントできる</p> <p>② 高齢がん患者の家族の特徴を理解し、看護援助を提案することができる</p> <p>③ 高齢者の社会的な支援・施策を理解し、質の高い生活を支援する方策を考案できる</p>
<p>4. 高齢がん看護展開論</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>科目 1～3 の学修を踏まえて、高度な看護実践を展開できる能力を獲得し、高齢がん患者への看護援助モデルを考案する。</p> <p><達成目標></p> <p>① 高齢がん患者の治療及び生活の場の特性を踏まえた看護援助を考案できる</p> <p>② 高齢がん患者と家族の意思決定を支える看護について説明できる</p> <p>③ 複雑な課題を抱える高齢がん患者に対して、既習した理論を活用した看護援助モデルを考案できる</p>

2018（平成30）年度『高齢がん患者の治療とケア』 日程表

日程	時間	講義内容	講師
2018年 8月25日 (土)	9:00-9:30	オリエンテーション	藤田佐和 (高知県立大学看護学部教授)
	9:30-12:30	1. 高齢がん看護基盤論 ・老年学と老年看護学における諸理論	竹崎久美子 (高知県立大学看護学部教授)
	13:30-16:30	2. 高齢がん診断治療学 ・高齢者への緩和医療とチーム医療	村上あきつ (香川大学医学部附属病院がんセンター緩和ケアチーム専従医師)
8月26日 (日)	9:00-12:00	1. 高齢がん看護基盤論 ・高齢者への看護にまつわる倫理的課題とアプローチの実際	百瀬由美子 (愛知県立大学副学長 看護学部教授)
	13:00-14:30	・継続した高齢者看護における課題と戦略	
9月15日 (土)	9:00-12:00	1. 高齢がん看護基盤論 ・高齢者の健康生活/心理・社会的機能評価およびアセスメントと看護援助 ・複雑な健康問題（心不全、COPDを含む）をもつ高齢者への包括的アセスメントと看護援助	渡邊美保 (高知県立大学看護学部講師)
	13:00-14:30	2. 高齢がん診断治療学 ・高齢者の薬物療法	佐藤博俊 (はりまやばし診療所 院長)
	14:40-16:10	・認知症における診断	永野啓輔 (ながの内科クリニック 院長)
9月16日 (日)	9:00-12:00	・高齢がん患者の治療の現状と課題	島田安博 (高知医療センター 病院長)
	13:00-16:00	・高齢者に対する心理社会的支援	吉岡佐知子 (松江市立病院 副看護局長 老人看護専門看護師)
2月2日 (土)	9:00-10:30	3. 高齢がん看護実践論 ・高齢がん患者の看護における現状と課題	藤田佐和 (高知県立大学看護学部教授)
	10:40-12:55	・高齢がん患者の家族への看護援助	森下幸子 (高知県立大学看護学部特任准教授)
	14:00-15:30	・高齢者への社会的支援、最新の施策の実際と課題	竹崎久美子 (高知県立大学看護学部教授)
	15:40-17:10	・終末期の高齢がん患者への看護と課題	田代真理 (JCHO 東京新宿メディカルセンター がん看護専門看護師)

2月3日 (日)	9:00-12:00	・高齡がん患者の全人的アセスメントと看護援助： 身体的側面	今井芳枝 (徳島大学大学院医歯薬学研究部保健科学教育部看護学専攻 准教授)
	13:00-14:30	・高齡がん患者の全人的アセスメントと看護援助： 心理社会的側面	森本悦子 (高知県立大学看護学部 教授)
	14:40-16:10	4. 高齡がん看護展開論 ・高齡がん患者の療養生活を支援する看護実践 II (在宅緩和)	田代真理 (JCHO 東京新宿メディカルセンター がん看護専門看護師)
2月16日 (土)	10:30-12:00	・高齡者がん患者の療養生活を支援する看護実践 I	藤田佐和 (看護学部教授) 森本悦子(看護学部教授) 庄司麻美(看護学部助教) 門田麻里(がんプロ特任助教)
	13:00-16:00	(外来看護、移行支援) ・治療期にある高齡がん患者への看護実践	
2月17日 (日)	9:00-12:10	・高齡がん患者と家族の意思決定支援	藤田佐和 (高知県立大学看護学部教授)
	13:10-15:50	・複雑な課題を抱える高齡がん患者への看護介入モデル 修了式	